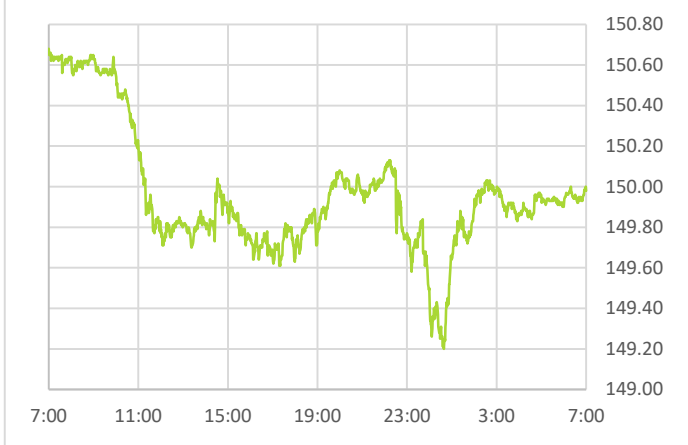


2024年3月1日(金曜日)

## 前日のトピックス

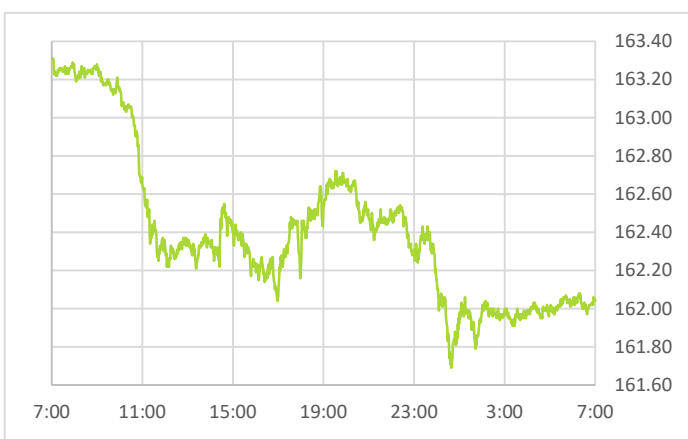
## 【米ドル/円チャート】

(出所: Refinitiv)



## 【ユーロ/円チャート】

(出所: Refinitiv)



## 【推移レンジ】

(出所: Refinitiv)

	オープン	安値	高値	クローズ
ドル/円	150.69	149.21	150.68	149.97
ユーロ/ドル	1.0839	1.0796	1.0856	1.0805
ユーロ/円	163.20	161.72	163.22	162.06

(\*)オープン値は東京時間7時00分時点の気配値(週初は東京時間5時00分時点の気配値)

(\*)クローズ値はNY時間17時(東京時間7時)時点の気配値

## 【相場回顧】

## 日銀審議委員によるタカ派発言を受け、ドル円は一時150円を割り込む

## 東京時間:

ドル円は150円台前半、ユーロ円は163円台前半でスタート。朝方に神田財務官より円安牽制発言があるも特段反応はなし。その後、高田日銀審議委員よりマイナス金利解除実現に向けたタカ派発言を受け、円買いが進行。ドル円は150円台を割り込み、ユーロ円は162円台前半まで下落。午後には高田日銀審議委員より「どんどん利上げするつもりではない」との発言が伝わるも為替の戻りは限定的であった。

## 海外時間:

一欧州時間に入り、米10年債利回りが、4.26%から4.31%へ上昇する中、ドル円は150円台を回復。米国時間では、注目されていた米経済指標(次頁参照)が発表され、概ね市場予想通りであったが、マーケットは債券買い、ドル売りで反応。米10年債利回りは、4.31%から4.22%へ低下し、ドル円は149円21銭と日中安値を更新した。その後はFED高官より発言が相次ぐも、マーケットの反応は限定的であったが、ポジション調整によってドル円は徐々に値を戻し、149円後半で推移した。

## 主要相場動向

## 【株式市場】

		終値	前日比
日	日経平均	39,166.19	▲ 41.84
米	NYダウ	38,996.39	+ 47.37
	NASDAQ	16,091.92	+ 144.18
独	DAX	17,678.19	+ 76.97
英	FTSE100	7,630.02	+ 5.04
中	上海総合指数	3,015.17	+ 57.32

## 【国債利回り】

		引け(%)	前日比
日	10年国債	0.710	+ 0.015
米	10年国債	4.254	▲ 0.012
	2年国債	4.623	▲ 0.021
独	10年国債	2.404	▲ 0.057
英	10年国債	4.123	▲ 0.063

## 【通貨オプション】

	1M ATM 引け (%)	1M R/R	
		引け (%)	OVER
ドル/円	7.98	1.56	JPY CALL
ユーロ/円	7.22	1.56	EUR PUT

## 【インデックス等】

	引け	前日比
ドルインデックス	104.16	+ 0.18
人民元基準値(公表値)	7.1036	▲ 0.0039
VIX指数	13.40	▲ 0.44
CME Term SOFR 3mth	5.33352	▲ 0.00773

## 【商品市場】

	終値	前日比
金(COMEX)	2,054.70	+ 12.00
原油(WTI)	78.26	▲ 0.28

(出所: Refinitiv)

- 本資料は純粋に情報提供を目的とし、弊行が信頼に足り、正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、弊行はその情報の正確性や完全性を保証するものではありません。記載された意見や予測等は、作成当時の筆者の一見解を示すのみであり、今後予告なしに変更されることがあります。
- 本資料は、いかなる取引の勧誘や推奨を行うものではありません。
- 記載された内容を投資等にご利用なさる際には、くれぐれもご自身の判断でなさるよう、お願い申し上げます。本資料の一部又は全部を問わず、弊行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。本件に関するお問い合わせは、お取引の三井住友銀行の窓口までお願い致します。

2024年3月1日(金曜日)

## 行事・経済指標・発言等

## 【経済指標】

(出所: Refinitiv)

日付	国	内容	対象期間	結果	予想	前回	改定値	
2/29	日	鉱工業生産 速報値(前月比)季調値	1月	▲7.5%	▲7.3%	1.4%	-	
		小売売上高(前月比)実質	1月	▲0.4%	0.5%	▲1.6%	-	
		GDP 確報値(前期比)	Q4	0.1%	0.0%	0.0%	-	
		HICP 速報値(前年比)	2月	3.1%	3.0%	3.4%	-	
		個人所得(前月比)	1月	1.0%	0.4%	0.3%	-	
		コアPCE価格指数(前年比)	1月	2.8%	2.8%	2.9%	-	
		PCE価格指数(前年比)	1月	2.4%	2.4%	2.6%	-	
		新規失業保険申請件数	週次	215千	210千	201千	202千	
		失業率	1月	-	2.4%	2.4%	-	
		国家統計局 PMI	2月	-	49.1	49.2	-	
3/1	米	HCOB PMI 確定値	2月	-	46.1	46.1	-	
		HICP(前年比)	2月	-	2.5%	2.8%	-	
		HICP(除く食品・エネルギー・酒・タバコ)(前年比)	2月	-	2.9%	3.3%	-	
		製造業ISM	2月	-	49.5	49.1	-	
		ミシガン大 消費者信頼感指数	2月	-	79.6	79.6	-	
		米	米	米	米	米	米	米
		米	米	米	米	米	米	米
		米	米	米	米	米	米	米

## 【コメント・発言等】

日付	国	発言者、イベント名	発言内容
2/29	日	神田財務官 高田日銀審議委員	行き過ぎた変動があれば対応する 物価目標実現ようやく見通せる状況になってきた どんどん利上げするというのではない
	米	ボスティック アトランタ連銀総裁 ゲールズビー シカゴ連銀総裁 デイリー サンフランシスコ連銀総裁 マスター クリーブランド連銀総裁	インフレは自分の予想よりずっと速く低下した この夏に緩和を始めるのが恐らく適切だろう 労働供給のポジティブなショックは、インフレに長期間影響を与える可能性が高い 利下げが早すぎるとインフレが行き詰まる可能性がある インフレが2%に下がるまで金利を維持することは避けたい PCEデータはFedの更なる行動の必要性を示す 2024年に3回の利下げが妥当と感じる

## 本日の相場予想

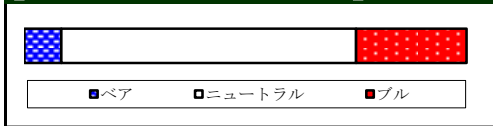
## ドル円は上値重く推移するか

日銀会合が3月、4月に行われる中、市場は日銀の金融政策正常化がいつ行われるか、植田総裁をはじめ日銀政策委員への発言注目度が高まっている。150円台後半以降では、円安牽制発言も入ったことから、ドル円の上値は重く推移することとなるだろう。

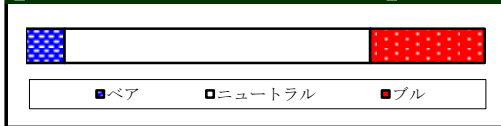
<本日の予想レンジ>ドル円: 149円70銭~150円70銭、ユーロ円: 161円50銭~162円80銭 (担当: 大江)

## ディーラーの予想分布

## 【ドル円・ブルベアイメージ】



## 【ユーロ円・ブルベアイメージ】



弊社ディーラー(15名程度)による本日の相場予想(※1)の分布(※2)です。

(※1)本レポート作成時点での、本日ニューヨーククローズにおけるレート水準の予想

(※2)ブル: 50銭超の上昇(円安)、ベア: 50銭超の下落(円高)、ニュートラル: 上下50銭以内

- 本資料は純粋に情報提供を目的とし、弊行が信頼に足り、正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、弊行はその情報の正確性や完全性を保証するものではありません。記載された意見や予測等は、作成当時の筆者の一見解を示すのみであり、今後予告なしに変更されることがあります。
- 本資料は、いかなる取引の勧誘や推奨を行うものではありません。
- 記載された内容を投資等にご利用なさる際には、くれぐれもご自身の判断でなさるよう、お願い申し上げます。本資料の一部又は全部を問わず、弊行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。本件に関するお問い合わせは、お取引の三井住友銀行の窓口までお願い致します。



三井住友銀行

SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION